

わしいものにチェックを入れてください。ただし、前問と同様「延ばす余命の年数×1年分の値段」の負担が全額自己負担となります。また、医療保険の中で治療をしても余命の10年間だけは生きることができることにご注意ください。

表側（一年分の値段）

年間250万円なら
年間500万円なら
年間1000万円なら
年間2000万円なら
年間3000万円なら

表頭（延ばす年数）

延ばすつもりはない
1年以上～3年未満延ばす
3年以上～6年未満延ばす
6年以上～10年未満延ばす
10年以上～15年未満延ばす
15年以上延ばす

問21 以下で挙げる医療制度について、知っている言葉を教えてください。

表側

国民皆保険制度
自由診療
自己負担
国民健康保険
老人健康保険
混合診療
特定療養費制度
高額療養費制度
差額ベッド
インフォームドコンセント

表頭

知っている
知らない

混合診療禁止ルールおよび混合診療の説明

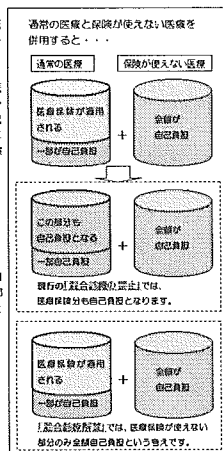
■混合診療の禁止・解禁の説明

わが国は医療保険があるために、可のお患者さんや病院にいったときに窓口で支払う金額は、若者は3割、老人は1割です。

しかしながら、最先端の医療など、また医療保険の使用が認められていない治療法や薬を使いたい場合には、その分を全額自己負担するだけでなく、その病気の治療にかかった全ての医療費（保険が使える医療費も）が全額自己負担になるという制度となっています。

これを「混合診療の禁止」と呼びます。

一方、「混合診療の解禁」を行って、医療保険が使える部分は若者3割、老人1割の自己負担とし、医療保険が使えない部分のみ全額自己負担になる制度にしようという見方もあります。



問 22 あなたは混合診療の解禁に賛成ですか？反対ですか？

混合診療の解禁に全面的に賛成

混合診療の解禁にどちらかといえば賛成

どちらでもいい

混合診療の解禁にどちらかといえば反対

混合診療の解禁に全面的に反対

問 23 あなたは混合診療に対してどのようなイメージをもっていますか？

表側

混合診療の解禁は公平性を損なう

混合診療の解禁は安全性を損なう

混合診療の解禁によって医師の都合による医療が広まる

混合診療の解禁は医療費を増大させる

混合診療の解禁は治療の選択の自由を高める

混合診療の解禁によって治癒率が高まる

混合診療の解禁によって重症者が救われる

表頭

そう思う

どちらでもない

思わない

問 24 あなたは、「全ての人々が年収300万円で平等の社会」と「貧富の格差はあるが平均的年収は500万円程度」の社会とどちらが良いと思いますか？あなたの考えに最も近いものにチェックを入れてください。

皆が年収300万の平等社会が良い

どちらかといえば、年収300万円の平等社会が良い

どちらともいえない

どちらかといえば、貧富の格差があるが平均年収500万円の社会が良い

貧富の格差があるが平均年収500万円の社会が良い

問 25 あなたは、「全ての人々が寿命50歳で死ぬ平等な社会」と「人によって寿命の格差はあるが平均寿命は70歳」の社会とどちらが良いと思いますか？あなたの考えに最も近いものにチェックを入れてください。

皆が50歳で死ぬ平等社会が良い

どちらかといえば、皆が50歳で死ぬ平等社会が良い

どちらともいえない

どちらかといえば、寿命の格差はあるが平均寿命70歳の社会が良い

寿命の格差はあるが平均寿命70歳の社会が良い

問 26 あなたの現在の生活水準は、どの程度だと思いますか？

非常に豊かだと思う

おおむね豊かだと思う

ふつうだと思う

おおむね貧しいと思う

非常に貧しいと思う

問 27 あなたはいま、自分で幸せだと思いますか？

非常に幸せだ

おおむね幸せだと思う

ふつうだ

あまり幸せとは思わない

非常に不幸だと思う

問 28 あなたは、あなたより豊かな生活をしている人たちが住む町で暮らすのと、貧しい

人たちが住む町で暮らすのとどちらを選びますか？安全性や利便性などは変わらないとします。

- 自分よりかなり豊かな生活をしているひとたちが住む町で暮らす
- 自分より少しだけ豊かな生活をしている人たちが住む町で暮らす
- 自分と同じくらいの生活をしている人たちが住む町で暮らす
- 自分より少しだけ貧しい人たちが住む町で暮らす
- 自分よりかなり貧しい人たちが住む町で暮らす
- どちらでもよい

問 29 あなたがこれまでかかった医療機関のなかで、次に該当するような経験をしたことはありますか？

表側

- 医師は治療や病状について十分な説明をしてくれなかった
- 医師に不信感を抱いたことがある
- 医師に不満を抱き、医師を代えた
- 医師のいうことには、おおむね従う
- 医師の説明に納得いかないときは、とことん質問した（する）
- 医師は自分の意志を尊重してくれたと思う

表頭

- はい
- いいえ
- 該当なし（医師にかかったことがないなど）

問 30 あなたに、次のいずれかの物品およびサービス一つと交換できる、クーポンが渡されたとします（換金はできません）。いずれのサービスも金額的な違いはありません。あなたならどれを選びますか？

- 食品や生活用品など、いま生活に必要な消耗品
- 耐久消費財
- 趣味への投資
- 自分が病気になったとき利用できる医療費補助
- 現在あるいは将来の子供の学費援助
- 自分が死んだとき、家族にわたる当座の生活資金
- その他

問 31 次の中で、あなたが育った環境（生まれたときから18歳くらいまで）に該当するものを教えてください。

表側

祖父母など高齢者と暮らしたことがある
家族の中に持病を抱えているものがいた
家族の中で入院や手術を要する大病をわずらったものがいた
弟もしくは妹がいた（いる）
兄もしくは姉がいた（いる）

表頭

はい
いいえ
わからない